

2018年3月5日

報道関係者各位

住友不動産株式会社

「首都直下型地震への備え」「地域での共助」 文京区後楽町会と地域のオフィスビル7棟による 合同防災訓練

住友不動産株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：仁島浩順）は、今般初めて東京防災隣組認定団体でもある文京区後楽町会（町会長：篠崎紘治郎）※1の皆様と共に、防災意識の共有と啓蒙を図るべく「住友不動産飯田橋ファーストタワー」及び仲通りにて、3月2日（金）に合同防災訓練を実施いたしました。

当日は、小石川消防署と富坂警察署と連携し、後楽町会と同地域内の当社オフィスビル7棟（総延床面積約112,000㎡、テナント数58社、在館人員約9千人）、住宅253戸（居住者約630人）、店舗17軒から総勢約1,200人の皆様にご参加いただき、当社最大規模の防災訓練となりました。



＜住友不動産飯田橋ファーストタワー＞



＜一斉放水訓練＞

首都直下型地震発生が危惧される中、東日本大震災より7年となるにあたり、震度6強の直下型地震とそれに伴う火災発生を想定した避難訓練、小石川消防署と地域の消防団による放水演習や富坂警察署にご協力いただき、住友不動産飯田橋ファーストタワー東側公道の仲通りにて災害発生時に緊急車両の通行障害となる放置車両を人力のみで移動させる防災実技体験も行いました。

また地域の防災性向上を目的に、起震車・免震体験車、煙ハウスや、まちかど防災訓練車、水消火器に加え、「住友不動産飯田橋ファーストタワー」テナントのNEC ネットエスアイ株式会社様にもご協力頂き **VRによる火災動画をを用いた消火体験訓練**など様々な体験訓練を実施いたしました。有事の際に帰宅困難者一時滞在施設となる住友不動産飯田橋ファーストタワー内のベルサール飯田橋ファースト※2の周知も図り、後楽町会婦人会の皆様にもご協力頂き炊き出しの実演も行いました。



＜VRによる火災動画をを用いた消火体験＞



＜VR画面の表示映像イメージ＞※3

今回の合同防災訓練を機に、地域の方々との共助の体制を構築しながら、今後も更なる安全安心で災害に強い街づくりに寄与できればと考えております。

- ※1 木造密集地域を有する文京区後楽町会は、東京都が大都市ならではの共助の仕組みとして推進する「防災隣組」の認定団体であり、初期消火訓練や神田川流域に位置する為水災に備え水防訓練も実施しています。
- ※2 東日本大震災発生時にも、帰宅困難者一時滞在施設として睡眠休憩場所となる区画を開放し、大型スクリーンによるテレビ放映で情報提供も行いました。
- ※3 NEC ネットズエスアイ株式会社様提供。

【当日のスケジュール】

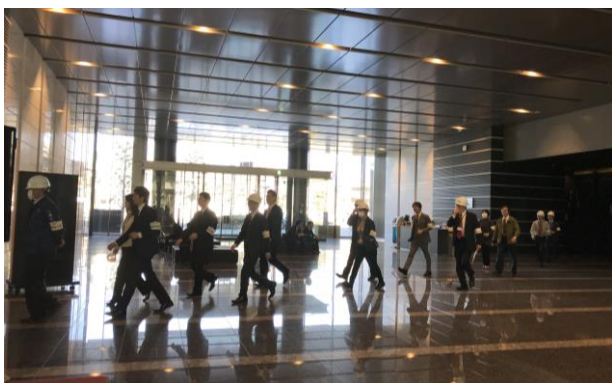
住友不動産飯田橋ビル
住友不動産飯田橋ビル 2 号館
住友不動産飯田橋ビル 2 号館ウィング
住友不動産飯田橋ビル 4 号館
住友不動産飯田橋ビル 5 号館

9 : 30 避難訓練・講評
10 : 00 体験訓練スタート
10 : 30 消防演習会場へ

11 : 00 体験訓練終了

住友不動産飯田橋ファーストタワー
住友不動産飯田橋ファーストビル

10 : 00 避難訓練
10 : 30 消防演習（一斉放水）
10 : 45 講評・挨拶
11 : 00 体験訓練スタート
13 : 00 体験訓練終了



<テナント企業避難訓練①>



<テナント企業避難訓練②>



<後楽町会 篠崎町内会長のご講評>



<小石川消防署 横山署長のご講評>



<富坂警察署 警備課 高野課長代理のご講評>



<放置車両の人力移動させる防災実技体験>



＜水消火器体験＞



＜まちかど防災訓練車での放水体験＞



＜防災トイレ展示＞



＜後楽町会による炊き出しコーナー＞



＜起震車＞



＜免震体験車＞

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

住友不動産株式会社 広報部 TEL:03-3346-1042 担当:内藤